

アスベスト含有屋根を安全・エコ・長寿命化に

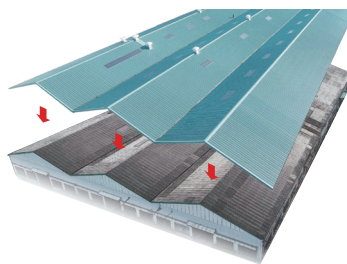
工場・倉庫の波形スレート屋根改修、トリプル・ハイブリッド工法

金属屋根 **エコウェーブ**

特許出願中  
意匠登録済み

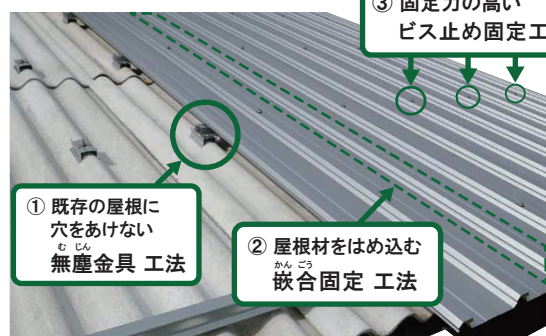
11月15日より発売開始

■エコウェーブ 製品写真



エコウェーブでの改修イメージ  
既存の波形スレート屋根に重ね葺き

■トリプル・ハイブリッド工法



株式会社カナメ（栃木県宇都宮市 代表取締役社長 吉原正博）は、2021年11月15日より波形スレート屋根の改修屋根材「**エコウェーブ**」の発売を開始したことをお知らせいたします。本製品は波形スレート屋根の改修をより安全に効率的に行う事を目的に、3つの工法の組み合わせ、さらに老朽化した屋根にも太陽電池を設置可能にしたことが特長です。

既存の波形スレート屋根に新しい金属屋根を重ね葺きするカバー改修工法でありながら、既存屋根に新しい屋根を取り付けるためのベース設置では既存屋根に穴をあけない「**無塵金具工法**（右上写真：①）」を採用。屋根に穴をあけないため、古い波形スレート屋根に含有されているアスベスト繊維を飛散させません。さらに、新しい屋根材の固定では屋根材同士をはめ込む「**嵌合固定工法**（右上写真：②）」と、固定力の高い「**ビス止め固定工法**（右上写真：③）」の両方を取り入れています。その為、従来の全箇所ビス固定に比べ、最大-66%※1のビスを削減し材料と手間のスリム化を実現しました。

- ① **無塵金具工法**で、屋根に穴をあけずアスベスト含有粉塵の発生、室内への塵落下を抑制。雨漏りリスクも回避。
- ② **嵌合固定工法**で、使用ビスを削減し、屋根全体で15%の工期短縮。
- ③ **ビス止め固定工法**で、強力で屋根を固定。

異なる3つの固定工法の利点を融合させたのがエコウェーブのトリプル・ハイブリッド工法です。

また、エコウェーブはカーボンニュートラルや再生可能エネルギーの更なる導入に向けて、太陽電池の取付けを前提に開発しており、従来は**屋根強度が足らず太陽電池が設置できなかった波形スレート屋根の建物にも新たに太陽電池の搭載が可能**になります。※2 波形スレート屋根建物の「安全・エコ・長寿命化」を目指す本製品の開発は、2020年12月22日に中小企業庁が推し進める「経営革新計画」の栃木県版に承認もされております。

現在国内ではバブル経済期に大量に建築された築30年前後の工場・倉庫の波形スレート屋根が改修の時期を迎えています。今後10年間で改修時期を迎える波形スレート屋根はおよそ2億8,600㎡※3と試算され、その多くが2006年のアスベスト全面禁止以前に製造されたアスベスト含有の波形スレート屋根です。

- ・ **工事費目安** 8,500円/㎡～ ※工事規模により変動（材料・工事費含む、樋・足場費用は除く）
- ・ **2022年度目標** 受注10億円
- ・ **工事エリア** 首都圏および福島県（提携会社を通じ拡大を計画中）

※1 平均的な1,000㎡の屋根で、従来の9,000本のビス固定をエコウェーブでは3,000本に削減。（平面部のみ。取付条件により異なる場合もございます。）  
 ※2 既存建物の躯体状態・荷重制限により設置が出来ない場合もございます。  
 ※3 社団法人 日本金属屋根協会「屋根材需要の20年（1979～1998）」をもとに試算。